

2025年日本国際博覧会開催に向けた
広報発信コンテンツ制作業務 仕様書

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

1 業務名称

2025年日本国際博覧会開催に向けた広報発信コンテンツ制作業務

2 目的

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会(以下「協会」という。)は、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」、サブテーマである「いのちを救う」「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」を活かして、万博開催から終了までの提供価値を高め、ブランディングを強化し、ブランドタグライン等、各種広報発信コンテンツを制作、それらをPRすることで、万博への来場促進につながる機運醸成を目的とする。

3 業務期間

契約締結～2024年4月30日(火)まで

4 委託上限額

60,000千円(消費税及び地方消費税を含む)

5 業務内容

受託者は、次に掲げる業務を実施するものとする。また、本業務に係るデータ制作、マニュアル制作、デザイン監修、打合せ等、それに係る一切の経費を含むものとする。

項目	納品点数	
(1)タグラインの制作	1式	
(2)キャッチコピーの制作	1式	
(3)キービジュアルの制作	500日前(2023年11月30日) キービジュアル	1点
	1年前(2024年4月13日) キービジュアル	1点
	500日前キービジュアル 展開ビジュアル(20パターン程度)	20点程度
	1年前キービジュアル 展開ビジュアル(20パターン程度)	20点程度
(4)各種ビジュアルの制作	入場券販売スケジュールをわかりやすく示したコミュニケーション用のビジュアル(5パターン程度)	5点程度
	入場券販売価格をわかりやすく示したコミュニケーション用のビジュアル(5パターン程度)	5点程度
	入場券販売状況をわかりやすく示したコミュニケーション用のビジュアル(完売/まだ間に合う/狙い目など)入場券発売開始以降毎月5点程度	30点程度
	入場券販売開始までのカウントダウンビジュアル(30日前/20日前/15日前/10日～1日前)	13点程度
	その他プロモーション用ビジュアル(毎月各5点程度※PR重点期間は月10本程度)	60点程度
	Youtubeサムネイル(月3点程度+各Instagramストーリーズ用画像)	36点程度
(5)チケット販促用 プロモーションムービーの制作	【5分/90秒/30秒/15秒】 1式	

(6)映画館劇場上映用 マナー映像の制作	ミyakミyakを活用した映画館の作品上映前に流れる、鑑賞マナー告知の映像	1点
(7)プロモーション用の取材 及びアウトプット制作	万博の魅力を伝えるためのスチール撮影(月3回程度)	36回程度
	万博の魅力を伝えるための原稿作成(月3本程度/1回2,000~3,000文字程度)	36本程度
	万博の魅力を伝えるための動画撮影、及びショート動画の作成【30~90秒】(月撮影稼働4日・編集1本程度 ※PR重点期間は編集月2本程度)	15本程度
(8)クリエイティブディレクション	全体のクリエイティブのディレクション 横串プロデュース	1式

(1) タグラインの制作

万博が掲げるテーマ、サブテーマ、コンセプトを基に親しみやすく提供価値を伝え、分かりやすく表した呼びやすく短いフレーズのタグラインを制作すること。タグラインは会期前、会期中、会期後も変更なく使用することを想定している。日本語及び英語の2種を作成すること。既に登録されている商標と類似したものは提案しないよう事前に確認を行うこと。

(2) キャッチコピーの制作

ア (1)で策定したタグラインを基に、キャッチコピーを制作すること。キャッチコピーは入場券発売時1種を制作すること。日本語及び英語の2種を作成すること。(万博が掲げるテーマ、サブテーマ、コンセプトを考慮すること)キャッチコピーは、入場券の販売促進のために制作するものであり、各種広告、プロモーションのために制作される各種ツール(のぼり、懸垂幕、バナーなど)、WEB サイト、SNS などへも展開されることを想定し制作する。既に登録されている商標と類似したものは提案しないよう事前に確認を行うこと。

イ アで策定したキャッチコピーをガイドライン・マニュアルとして整理し、以下内容のドキュメント及びデータを納品すること。

(ア) ガイドライン・マニュアルは日本語版を作成すること。

(イ) 最終納品物として正本1部提出。Illustrator 形式、PowerPoint 形式のデータ(編集可能な状態)を電子データにて提出すること。

(3) キービジュアルの制作

ア (1)、(2)で策定したタグライン、キャッチコピーを基に、キービジュアルを制作すること。(デザインエレメントを用いた展開パターン、カラーシステム「色の適応ルール」、指定・代替書体の設定、公式ロゴマーク、公式キャラクターとの組み合わせパターンの作成などを記載すること。)これらのデザインは、会場内外で設置されるのぼり、懸垂幕、バナー、WEB サイト、SNS などの賑わいを演出するツール及び入場券やパンフレットといった来場者への提供ツールへも展開されることを想定し作成する。キービジュアルは入場券発売時1種、2024年4月13日(開催1年前)の1種を制作すること。類似したものが提案されていないか事前に確認を行うこと。

イ アで策定したデザインを基に必要な応じてリサイズしたビジュアルを制作する。想定される使用用途は次のとおりとする。

(ア) 公式サイト(パソコン・スマートフォン)のメインビジュアル

(イ) SNS(Twitter、Facebook、Instagram)各種ヘッダー画像

(ウ) SNS(Twitter、Facebook、Instagram)投稿用画像

ウ アで策定したデザインをガイドライン・マニュアルとして整理し、以下内容をデータ納品すること。

(ア) ガイドライン・マニュアルは日本語版を作成すること。

(イ) イで作成したデザインもドキュメントに落とし込むこと。

(ウ) 最終納品物として正本1部提出。Illustrator 形式、PowerPoint 形式のデータ(編集可能な状態)を電子データにて提出すること。

(エ) WEB サイトのデザインは、Photoshop 又は XD データを電子データにて提出すること。

※ガイドライン策定後も、契約期間内において、デザイン監修(協会が進める制作物の確認)を行うこと。デザイン監修業務は契約締結～2024年4月30日(火)の期間中、隔週1時間程度の打ち合わせ(リアル・オンライン)を想定すること。

(4) 各種ビジュアルの作成

万博の魅力を伝え、来場促進及び入場券販売につながる機運醸成を目的とした各種ビジュアルの制作を行う。想定されるビジュアルの種類、納品数は次のとおりとする。

ア 入場券販売スケジュールをわかりやすく示したビジュアル(縦・横サイズ)

イ 入場券販売価格をわかりやすく示したビジュアル(縦・横サイズ)

ウ 入場券販売状況(完売/まだ間に合う/狙い目など)をわかりやすく示したビジュアル(入場券発売開始以降 縦・横サイズ)

エ 入場券販売までのカウントダウンビジュアル(30日前/20日前/15日前/10日～1日前 各縦・横サイズ)

オ その他プロモーション用ビジュアル(縦・横サイズ)

カ Youtube サムネイル(月3点程度+各 Instagram ストーリーズ用縦画像)

(5) チケット販促用プロモーションムービーの制作

(1)、(2)、(3)で作成した要素を基に、入場券販売に寄与することを目的として、万博が持つ価値、ワクワク感が幅広い層に伝わるプロモーションムービーを撮影・制作する。制作された映像は、協会ホームページや SNS、デジタルサイネージ、イベント会場等での放映のために使用されることを想定する。

ムービーは5分バージョン、90秒バージョン、30秒バージョン、15秒バージョン、各「音楽有り」「音楽無し」を横型で制作する。万博のオフィシャルテーマソングの「この地球の続きを」(3分55秒)に合わせてムービーを展開すること。プロモーションムービーは入場券発売時、2024年4月13日(開催1年前)時、更新すること。

映像の画角及び画素数については、フルHD(1920×1080pixel、アスペクト比 16:9)とし、30秒、15秒バージョンは縦型も制作する。ムービーのデータ形式は MOV 又は MP4とする。

(6) 映画館劇場上映用マナー映像の制作

映画館の作品上映前に流れる、鑑賞マナー告知の映像をミヤクミヤクを使ったオリジナル版で作成する。映像は、2分程度を想定し、最後に入場券販売情報の告知を記載するものとする。万博のオフィシャルテーマソングの「この地球の続きを」(3分55秒)に合わせてムービーを展開すること。納品データは、DCP対応のものとする。詳細の内容については、委託決定後に委託者と協議の上決定する。

(7) プロモーション用の取材及びアウトプット作成(企画、調査、取材、制作)

万博の魅力を伝え、来場促進及び入場券販売につながる機運醸成を目的とした取材を行い、原稿、写真、動画の納品を行う。

ア 取材に当たっては、ライター、スチールカメラマン、ムービーカメラマンと調整・連携を図りながら、万博情報を発信する記事の企画・制作を行う。なお、制作(納品)するコンテンツの数量はそれぞれ以下のとおり。

(ア) スチール撮影

(イ)原稿作成(1回 2,000～3,000 文字程度／日本語及び英語の2種を作成すること)

(ウ)ムービー撮影及びショート動画の作成 ※ショート動画は、30～90 秒程度の映像(縦・横)を想定する。

イ コンテンツの制作に必要な情報収集や調査を行う。

ウ 取材先については、委託者と協議の上、決定すること。

エ 記事を編集し、協会担当者へ送付する。

オ 撮影や編集に係る一切の費用(交通費、宿泊費、飲食費、撮影許可に要する費用等)については、全て委託料に含むものとする。

カ 写真、イラスト、ムービー、BGM等の使用に関しては、著作権の問題が発生しないものを使用すること。

キ 撮影に際し、出演者が必要な場合については肖像権等の問題が発生しないよう準備し、権利処理などの手続等については、受託者が行うこととする。

(8)クリエイティブディレクション

(1)～(7)のコンテンツ制作全体のイメージをコントロールし、全体の統一感を図り、円滑な制作進行管理を行うこと。

(9)業務スケジュール

ア 2023 年6月 30 日(金) 公募開始

イ 2023 年7月7日(金) 質問書締切

ウ 2023 年7月 14 日(金) 質問書回答

エ 2023 年7月 21 日(金) 提案書類提出締切

オ 2023 年7月下旬(予定) 選定委員会・プレゼンテーション

カ 2023 年7月下旬(予定) 選定結果の公表

キ 2023 年8月上旬(予定) 契約締結

ク 2023 年8月～10 月 制作

ケ 2023 年 10 月上旬 納品 ※ただし、素材内容によっては協会との協議の上、変更する可能性もある。

コ 2024 年4月 30 日(火) 業務終了

(10)業務・知的財産権に関する注意事項

ア 業務遂行に当たっては、協会及び協会が指定するデザイン関係者などの意見もとり入れながら進めるとともに協会の意図を十分に理解した上で作業に着手し、効率的な進行に努めなければならない。

イ 業務の開始に当たっては、納品までの作業工程表を提出すること。

ウ 業務は、委託契約書に定める各条項によるほか本仕様書に基づき施行すること。

エ 契約後速やかに着手し、業務期間終了日までに完了させること。

オ この仕様の内容に疑義が生じた場合、また業務遂行上特に重要な判断を行う場面では、着手前にあらかじめ協会職員と打ち合わせを行い、その指示又は承認を受けること。

カ 本事業において業務上知り得た情報は、他に漏らしてはならない。

キ 本業務の遂行にあたり収集した情報については、機密保持を徹底するとともに、電子データのパスワード設定をするなど万全なセキュリティ対策を講じること。

ク 本業務に係る全ての知的財産権は最終的に協会に帰属するものとする。

ケ 協会は本著作物に関する、二次的著作物(著作権法2条1項11号)を利用する必要があるときは、その内容に応じて、作成方法、権利の帰属などについて、受託者と協会とで協議して定めるものとする。協議が整わない場合には、これらの点について協会案を承諾したものとする。

コ 受託者は、本委託業務終了後、完了届を提出し、委託者の行う検査を受けること。

6 納品期日・方法・場所

(1) 納品期日

2023年10月上旬

※ただし、素材内容によっては協会との協議の上、変更する可能性もある。

(2) 納品方法

データによる。使用ソフト、データサイズについては当協会と協議の上で提出すること。

※「5 業務内容」を参照。

(3) 納品場所

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の指定する場所

(大阪市住之江区南港北1丁目14-16 大阪府咲洲庁舎 43階)

以上